

写真⑨ 宮田高架橋(宮田工区)(二七三町)



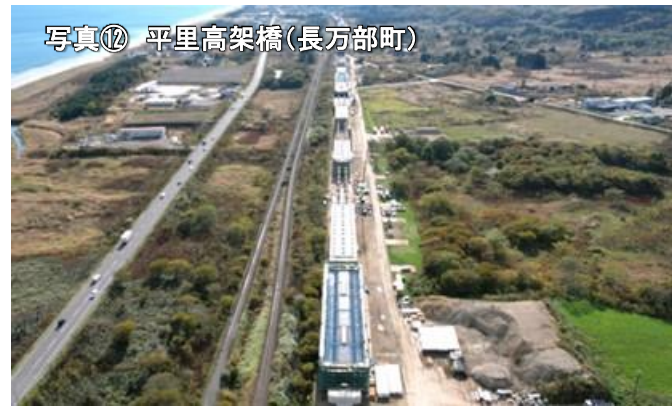
写真⑩ 静狩路盤(長万部町)



写真⑪ 栄原高架橋(長万部町)



写真⑫ 平里高架橋(長万部町)



写真⑬ 長万部駅高架橋(長万部町)



写真⑭ 新八雲(仮称)駅高架橋(八雲町)



写真⑮ 大新高架橋(八雲町)



写真⑯ 市渡高架橋(北斗市)

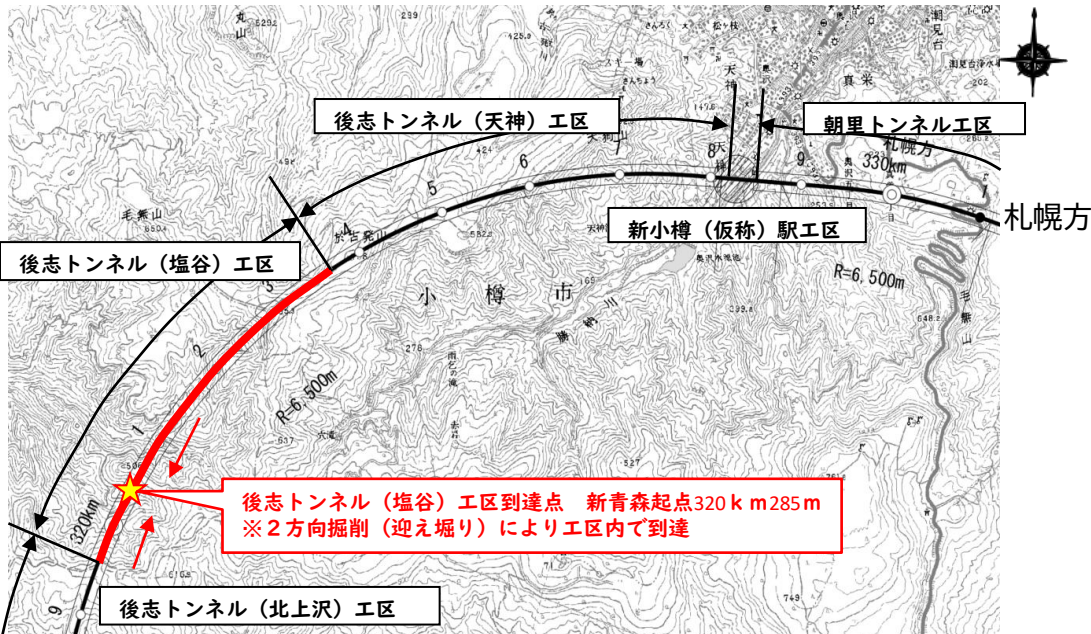


撮影位置図



# 後志トンネル（塩谷）の掘削完了（令和7年10月7日）

- 赤井川村、余市町、小樽市を繋ぐ後志トンネル(全長17,975m)は、4工区(天神工区、塩谷工区、北上沢工区、落合工区)に分割して施工。
- 塩谷工区は、平成30年11月斜坑掘削着手、令和2年5月に新函館北斗方に向けて本坑掘削を開始、令和5年10月からは2方向掘削により令和7年10月7日に掘削が完了。
- 引き続きトンネルを保護するコンクリートや車両が走行する路盤コンクリートの施工を進める予定。



新函館北斗方

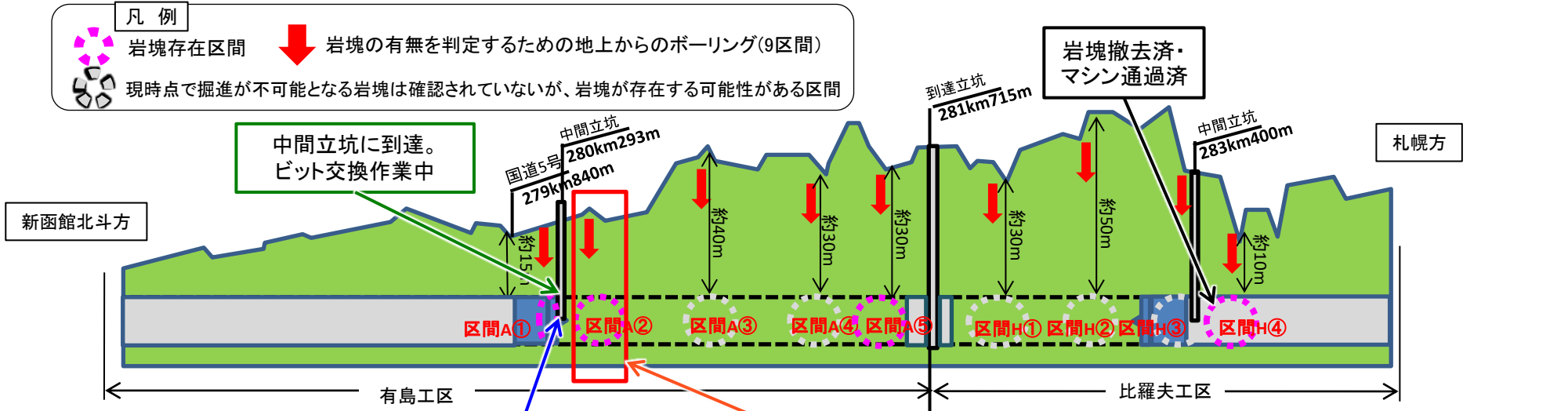
【国土地理院地図を基に作成】



掘削完了地点の状況

# 岩塊撤去の進捗状況(羊蹄トンネル)

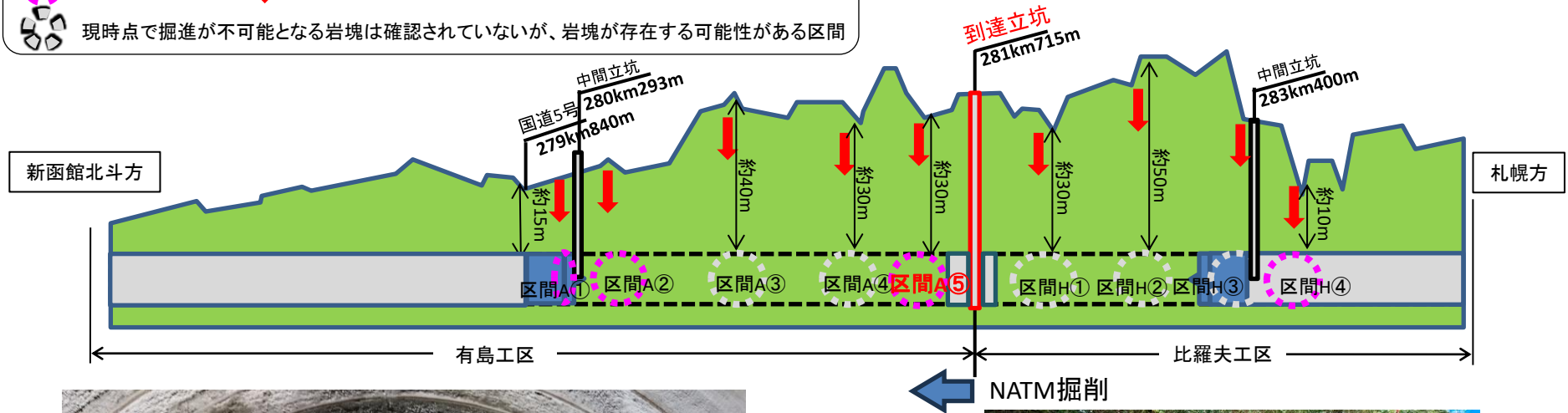
- 令和4年度に実施した弾性波探査の結果、9箇所掘進に影響する可能性のある岩塊の存在を確認。(図中の区間A①～H④)
- 区間A①では、掘進停止の原因となった岩塊を撤去し、シールドマシンが7月1日に中間立坑に到達。ビット交換作業中。
- 令和4～5年度の地上からのボーリング調査の結果、区間A②、A⑤、H④において、シールドマシンによる掘進が停止するおそれがある岩塊の存在を確認。このうち、区間A②の岩塊は、令和6年5月より地上から撤去中(令和7年6月より撤去範囲を拡大しており、令和7年10月31日時点で190本の撤去完了)、区間A⑤の岩塊は、到達立坑より撤去中、区間H④の岩塊は地上から撤去済。区間H③は岩塊無し。
- 残りの区間では、地上からのボーリング調査の結果では、シールドマシンによる掘進が不可能となる岩塊は未確認。



# 羊蹄トンネル(有島)工区の岩塊撤去状況【区間A⑤】

○岩塊が存在すると想定してる区間A⑤における岩塊撤去について、令和7年2月より到達立坑よりNATM掘削を開始。  
 ○NATM掘削が所定の位置に到達したため、今後掘削する区間に岩塊が存在するか確認するための水平ボーリングを実施した結果、現在の切羽面から近い位置で岩塊の存在を確認。  
 ○現在、掘削を進め岩塊撤去中。

- 凡例
- 岩塊存在区間
  - 岩塊の有無を判定するための地上からのボーリング(9区間)
  - 現時点で掘進が不可能となる岩塊は確認されていないが、岩塊が存在する可能性がある区間



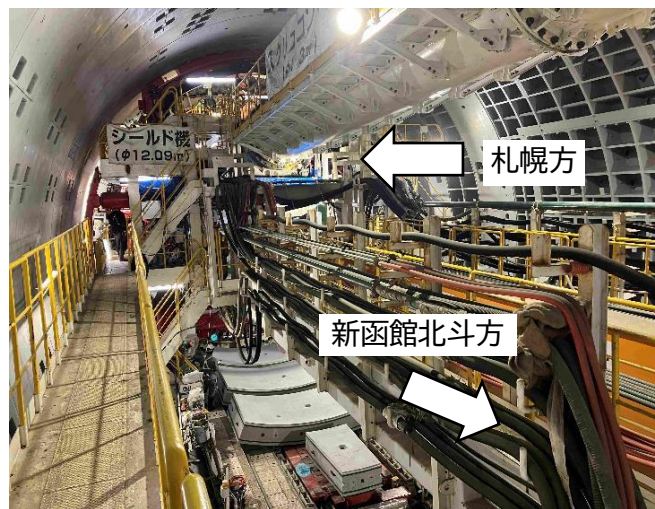
切羽状況



出現した岩塊の一部

# シールドトンネルの進捗状況(札幌トンネル(札幌))

- 令和6年3月より札幌方の掘進を実施。令和7年11月1日時点で約1,270mを掘進完了。
- 現在JR函館本線と並行している道路下を掘進中。
- 今後も、JR函館本線をはじめとした重要構造物に近接しながら掘進を予定。



札幌方掘進の様子

